



京丹後峰山の

こんぴらさん

境内点描 狛ネコ

神社になくはならない、シボルのな存在は「狛狗」ですが、当社境内社「木鳥社」の「狛猫」は全国的に見ても大変珍しい存在です。峰山は丹後縮緬の集積地、周辺の農家は良質の絹を生産するため養蚕を営みにしました。

養蚕の大敵は「ネズミ」です。大敵から絹を守るため、なくてはならない大切な存在がネコだったので。こんな縁で「狛猫」は今も丹後峰山の地で「機織養蚕の守護神」にお仕えしているのです。当社木鳥神社の縁起は、文政十三年（一八三〇年）に、山城国（現京都市）の養蚕の神、木鳥神社から、地元ちりめん織業者らの信仰によってお迎えされたものです。そして間もなく、糸商人や養蚕家達によって、この一对の狛猫が奉納されました。

台座には、次の文字が彫られています。
 《左側のネコ》奉献 江州外村氏 石工鱒留村長谷川松助 世話人 上河金七
 吉田八郎助 小室利七 天保三載九月
 《右側のネコ》奉献 当所絲屋中弘化参午青祀



奉納御礼

一、木製灯籠
 峰山町上 宮本昭治殿
 （製作 網野町 松村泰次氏）

平成十八年
 夏季秋季行事のご案内

水無月祭

こんぴらさんの
 七月二十九日
 「茅の輪くぐり」二十八日より
 「人形」受付・祓所参拜
 午後六時より九時まで
 「夜の市」開催

十月八日 神輿渡御祭
 十日 例祭

平成23年 御鎮座二百年祭

 ことひらじんじや

京丹後市峰山町泉1165-2
 電話 0772-62-0225
 FAX 0772-62-5993
 メール info@konpirasan.com
<http://www.konpirasan.com>